

トンボ  
トピックス  
2005

「長池公園 生き物図鑑勉強会」では、2005年5月末にトンボプロジェクトをスタートさせました。トンボの観察情報を蓄積していくことで、いつごろ、どんな種類のトンボがよく見られるのかを明らかにし、「トンボ暦」としてまとめるのが目的です。そのプロジェクトを振り返って、2005年のトピックスをまとめてみましょう。



(T)

ヨツボシトンボ

長池公園では2003年に初めて確認・撮影されたトンボです。2005年にはトンボ池で産卵する様子もスクープされました。どうやら長池公園でも繁殖しているようです。

オナガサナエ

(T)



姿池のほとりに5～6匹のオスが並んでいました。広角レンズでこんな写真を撮らせてくれたりして、かなり楽しめました。

クロスジギンヤンマ



▲捕獲されたオス型のメス (S)



▲普通のメス (G)

メスなのに腰の部分が青い「オス型のメス」。非常に珍しいようで、2004年に登坂さんが発見して「トンボ屋さん」の間で話題になりました。そのオス型メスを採集しようと、研究者が遠方から何度も足を運んで、みごと捕獲に成功。卵を採取してオス型メスの発生度合いを調べる予定でしたが、うまく卵を産んでくれなかったそうです。その後も田んぼで産卵するオス型メスが目撃され、少なくとも2匹はいたこととなります。長池公園では高い確率でオス型メスが出現しているのでしょうか。みなさんも探してみてください。



チョウトンボ (T)

観察例はあったものの、撮影されたのは初めて。「生き物図鑑」に投稿された写真をよく比較してみると羽の模様がちょっと違って、少なくとも2匹のオスがいたことがわかります。次はメスも見たいですね。

コノシメトンボ

(G)



例年見られますが、2005年は特に数が多かったように思います。姿池でも産卵風景が見られました。



(T)

キイトンボ

7～8月ごろ田んぼの中をよく探すと見つかります。派手な色とユーモラスな動きで楽しませてくれます。2005年はオス・メスとも複数確認されており、数は少ないながらもここで世代をつないでいるようです。

★★

## 14 アジアイトトンボ

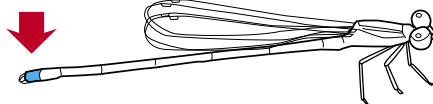
約 30 mm

観察できる時期(月)



▲オス 2005.7.31 T

オスはしっぽの先の1節だけが青くなる。



胸には粉をふかない。メスは、胸の側面に目立つ筋はなく、のっぺりした感じ。未成熟なうちはオレンジ色。

よく似た種 ⑥クロイトトンボ・⑳アオイトトンボ



▲メス 2005.8.8 T



▲未成熟のメス 2004.8.18 K

★★

## 15 キイトトンボ

約 35 mm

観察できる時期(月)



▲オス 2005.7.3 G

その名の通り黄色いイトトンボ。じっと止まっていると見つけにくい。田んぼで稲の隙間をツツツと飛んでいると、オスの黄色はよく目立つ。腹の先に黒い斑点があるのがオスの特徴。メスは全体的に緑色をしている。鮮やかな黄色をした個体もたまにいるが、腹の先にオスのような黒い斑点がないことで見分けられる。



▲メス 2005.8.17 G



▲黄色っぽいメス 2005.7.2 T

★★

## 16 ハラビロトンボ

約 35 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2003.5.20 T



▲メス 2005.5.28 G



▲成熟途中の黒いオス 2000.7.1 T

腹の幅が広いぼっちゃりした体型のトンボ。シオカラトンボの仲間で、メスや未成熟のオスは黄色だが、次第に黒くなり、その上から青い粉をふく。

シオカラトンボの仲間 ▶ P. 9

★★

## 17 オナガサナエ

約 60 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.7.11 G



◀メス 2005.7.28 G

オスの腹の先に大きなふくらみがあるサナエトンボ。メスは腹全体が太め。2005年7月には姿池のほとりに5~6匹のオスが並んでいた。

よく似た種 ③コサナエ・ヤマサナエ



▲オスの正面顔 2005.7.16 T



▲見附橋をバックに 2005.7.18 T

★★

18 ギンヤンマ

約 75 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲飛翔中のオス 2001.9.24 T



▲姿池で産卵するペア 2005.9.8 G

オスは胸が黄緑色で腹は赤茶色。腹の根元に青い部分がある。メスは黄緑色から黄褐色。クロスジギンヤンマとの違いは、胸に筋がないこと、青いのは腰だけで腹には青い斑紋がないことだが、飛んでいる姿を見分けるのは難しい。腹が赤みがかっているのがギンヤンマ、黒っぽいのがクロスジギンヤンマ。ヤンマ科のトンボにしては珍しくオスとメスが連結したまま産卵することが多い。

よく似た種 4 クロスジギンヤンマ



▲連結したペア 2005.9.8 G

★★★

19 オニヤンマ

約 90 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



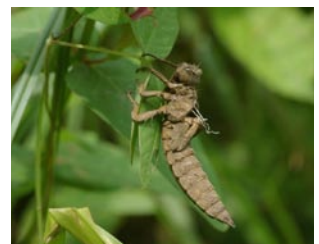
▲オス 2005.7.28 G



▲羽化直後のオス 2001.7.5 T



▲産卵するメス 1995.9.25 T



▲羽化殻 2005.7.16 T

国内最大のトンボ。「オニ」を連想させる迫力と、黒と黄色の縞模様。エメラルドグリーンの複眼が美しい。開けた場所ではなく林縁に生息する。里山ゾーンを飛び回り、遊歩道や沢に沿って人の腰の高さくらいのところを往復していることがある。せせらぎ緑道でも見られる。休むときは、木の枝にぶらさがって止まる。

よく似た種 12 オオヤマトンボ

★

20 チョウトンボ

約 40 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.7.16 T

チョウのように広い羽をもつ。オスは青紫色で、メスは黒緑色をしている。長池公園でもたまにトンボ池で観察される。2005年にはオス2匹が確認されたがメスは未確認。公園内で繁殖しているかどうかは不明。

メスを発見したら  
撮影にチャレンジして  
「生き物図鑑」に  
投稿してください。



▲オス 2005.8.2 G

★★★

21 ウスバキトンボ

約 45 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲ぶら下がって止まる 2000.8.8 T



▲姿池の周辺を飛ぶ 2005.9.2 G

明るいオレンジ色でやわらかそうな体をしている。複眼が大きく羽も体の割に大きい。飛翔力があり風に乗って飛び続けていることが多い。オスとメスはほぼ同色。8月下旬には姿池の周辺や住宅地の中でも大群になって飛んでいる。めったに止まらないが、止まるときは羽を広げてぶら下がる。

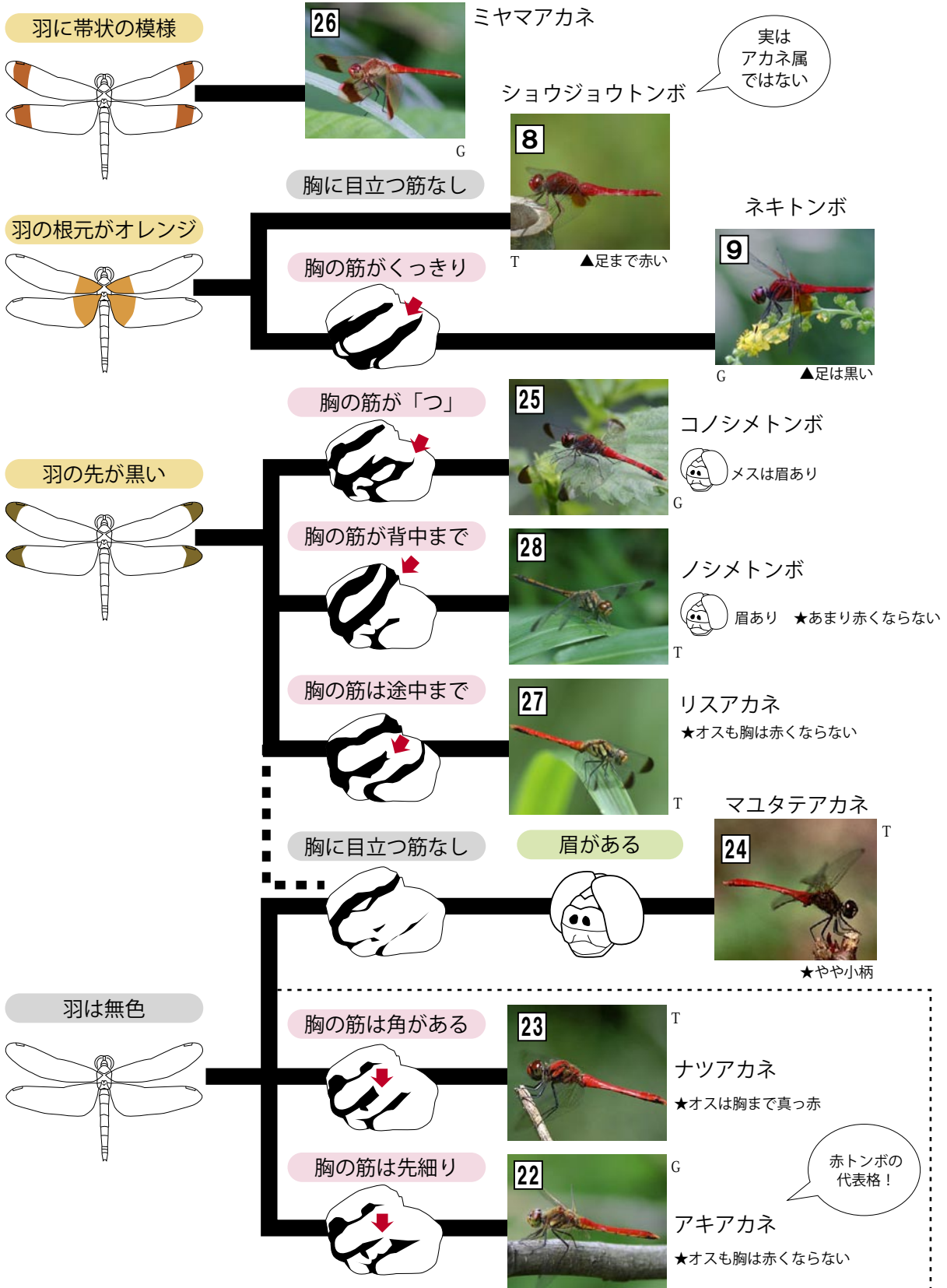
観察するには、羽化直後の個体を探すとよい。8月半ばに田んぼで多数羽化する。9月には姿池で多数羽化しているようである。卵から羽化までが40日ほどと成長がはやい。毎年南方から飛来したものが世代を重ねて北上し、冬には寒さのために死に絶える。



▲羽化殻 2005.9.18 G

# 赤トンボの見分け方

「赤トンボ」は赤くなるトンボの総称です。  
ここでは、代表的な9種類の見分け方を解説します。



豆知識

赤トンボは、6～7月には羽化している。  
羽化したての赤トンボは赤くない。  
体のどの部分が赤くなるかも種類を見分けるポイント。  
メスはオスほど赤くならない。

このほか、マユタテアカネに似たヒメアカネ、  
マイコアカネも公園内で観察されている。  
(→P23 参照)

★★★★★

22 アキアカネ

約 40 mm

観察できる時期(月)



▲オス 2005.9.3 G

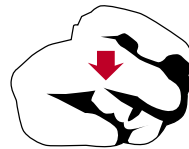


▲メス 2005.9.1 G

赤トンボの代表格だが、真っ赤にはならない。オスは腹の部分だけが赤くなり、胸は茶褐色。メスは腹の背面が赤くなる。未成熟なうちは黄褐色。よく似たナツアカネとは、胸の側面の黒い筋の入り方で見分ける。アキアカネは前側の筋が先細りしている。6月末~7月上旬に田んぼで多数羽化する。その後、夏場は涼しい山で過ごし、秋になってまた里にもどってくる。

よく似た種 23 ナツアカネ

赤トンボの見分け方 P.17



▲羽化直後のメス 2005.6.30 G

★★

23 ナツアカネ

約 40 mm

観察できる時期(月)



▲オス 2000.10.23 T



▲メス 2005.9.1 G

オスは全身真っ赤に色づく。メスは腹の背面が赤くなる。未成熟なうちは黄褐色。胸の側面の黒い筋が、垂直にスパッと切れている。7月下旬には田んぼ周辺などで赤く色づいた姿が見られる。アキアカネより数は少ない。

よく似た種 22 アキアカネ・9 ネキトンボ・24 マユタテアカネ

赤トンボの見分け方 P.17



▲羽化直後のメス 2005.7.24 G

★★★

24 マユタテアカネ

約 35 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲未成熟のオス 2005.8.23 G



▲羽化直後のメス(斑紋タイプ) 2005.7.6 G



▲成熟したオス 1997.10.5 T

小柄で細身の赤トンボ。腹の先端が反りあがっている。オスは成熟すると腹全体が鮮やかな赤、胸はこげ茶色になる。顔に黒い斑紋が2つあり、それを盾に見立てて「盾斑」とよぶ。盾が立っているように見えるので「マユタテアカネ」。胸の側面に黒い筋はほとんどない。メスは成熟しても黄褐色のまま。羽はふつう無色だが、メスの中に先が黒いものがたまにいる。田んぼの周辺で、よく見られる。腹を曲げた感じの独特な姿勢で飛ぶ。

よく似た種 27)リスアカネ・23)ナツアカネ・25)コノシメトンボ(メス)

赤トンボの見分け方 P.17

★★

25 コノシメトンボ

約 40 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.8.19 T



▲メス 2005.9.1 G

羽の先が黒いのが大きな特徴。胸の側面の黒い筋が「つ」の字につながっている。オスは腹も胸も真っ赤になる。メスは黄褐色のままでも赤くならない。メスの顔には小さな眉斑がある。田んぼや池などでよく見られる。

よく似た種 28)ノシメトンボ・24)マユタテアカネ(メス)

赤トンボの見分け方 P.17



▲未成熟のオス 2005.8.19 G



★★

26 ミヤマアカネ

約 35 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.9.17 G



▲メス 2005.8.5 G



▲羽化直後のメス 2001.7.4 T

羽の先端近くに帯状の模様がある小型の赤トンボ。羽の模様でほかの赤トンボと容易に見分けられる。オスは体全体が赤く色づくが、メスは茶色が濃くなる程度。長池公園の田んぼに注ぐ細い水路や、せせらぎ緑道などで繁殖しているようである。「ミヤマ(深山)」とつくが、里で普通に見られる。ただ、近年は数が減っているらしい。

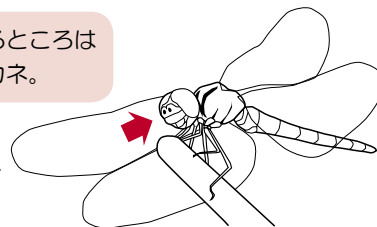
赤トンボの見分け方 P.17

マユタテコノシメトンボ?

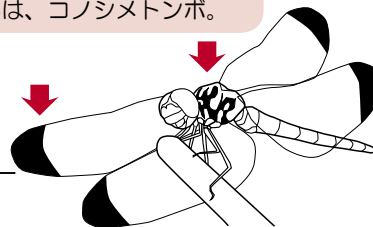


▲マユタテアカネとコノシメトンボの交雑種と見られるオス。2005.8.18 T

顔に眉があるところはマユタテアカネ。



羽の先が黒く、胸に「つ」の字の筋があるところは、コノシメトンボ。



2005年8月、マユタテアカネとコノシメトンボの特徴をあわせもつ個体を登坂さんが発見しました。トンボ情報の豊富な「故郷・埼玉のトンボ」(<http://homepage2.nifty.com/KUNIKAMINUSI/>)の掲示板に問い合わせたところ、マユタテアカネとコノシメトンボの交雑種でしょう、との見解を得ました。ありふれた赤トンボでも、ひとつひとつを気をつけて観察してみると、このような変わった個体が見つかることもあるかもしれません。

★★

27 リスアカネ

約 40 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----

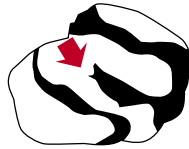


▲オス 2005.8.14 T



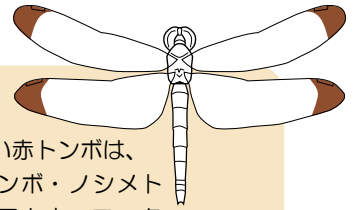
▲産卵するメス 2005.8.27 T

羽の先が黒く、オスは成熟しても胸が赤くならず黄色のまま。胸の側面中央にある黒い筋は、背中までは届かない。トンボ池のほとりの薄暗いところによく現れる。



よく似た種 25コノシメトンボ・28ノシメトンボ

赤トンボの見分け方 P.17



覚えた?

羽の先が黒い赤トンボは、コノシメトンボ・ノシメトンボ・リスアカネ・マユタテアカネのメスの一部。

※長池公園の主要 30 種中

★

28 ノシメトンボ

約 45 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----

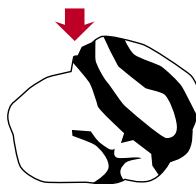


▲オス 2005.8.21 T



▲メス 2005.8.28 T

赤トンボの中では大柄。オス・メスともに成熟しても背面が少し赤みを帯びる程度で、全体的に茶色っぽい。羽の先が黒く、胸の側面中央の黒い筋が背中にも達している。顔にはオス・メスとも小さな眉斑がある。



よく似た種 25コノシメトンボ・27リスアカネ

赤トンボの見分け方 P.17

フタ鼻じゃないよ



覚えた?

顔に眉斑があるのは、マユタテアカネ・ノシメトンボ・コノシメトンボ(メス)。

※長池公園の主要 30 種中